

体育，保健体育

豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育む授業づくり

「体育の見方・考え方」	「保健の見方・考え方」
運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること	個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること

授業づくりのポイント ※数字は学習の例と対応	
運動に関する領域	保健に関する領域
① 難しすぎず，易しすぎない最適な課題や，思わずやってみたくなるような場や活動を設定する。 ② 学習過程の中で，体育ならではの見合いや教え合い，励まし合いを活発にする場面を意図的，計画的に設定する。 ③ 運動を楽しく行い，動きや技能が高まるとともに，体力の向上を実感できるような場面を設定する。 ④ 運動やスポーツの魅力に応じた楽しさを味わったり，意義や価値に気付いたりすることができるような教材を活用し，単元を通して三つの資質・能力をバランスよく育む学習過程を工夫する。	① 健康・安全に関心をもてるようにし，健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法を工夫する。 ② 健康・安全に関する情報を，正しく選択・活用して課題を解決できるような展開を工夫する。 ③ 習得した知識と実際の生活とを比較したり，関連付けたりする学習活動を取り入れる。

運動やスポーツへの多様な関わり方を通して，楽しさや喜びを味わうことができる学習の例

小学校第2学年 単元名「動物の森で大冒険」〔F 表現リズム遊び（A 表現遊び）〕

<本時のねらい>

動物の特徴やいろいろな様子を捉え，高低の差や速さに変化のある全身の動きで即興的に踊ることができる。

<ねらいを達成した児童の姿>

「□□な感じ」を強調するために，高低の差や速さに変化を付けて，全身の動きで即興的に踊っている。

<主な学習活動>

- 1 心と体をほぐす活動をする。
- 2 前時の学習を振り返り，本時のめあてを確認する。



めあてを確認する場面

T：前の時間の振り返りに「なりきって踊ることが難しかった」とありました。始めに，この前遠足で動物園に行った時の映像を見てみましょう。ゾウは，どんな感じに見えましたか。

S1：鼻を振り回して怒っているように見えました。

S2：足が太くて強そうに見えました。

T：今日は，前の時間に見付けた「動物が〇〇しているところ」の動きを，「どんな感じ」を大げさにして全身で踊ってみましょう。



- 3 高低の差や速さに変化を付けた動きを教師と一緒にやってみる。

- ・教師のリードで「□□な感じ」を強調して踊る。

- 4 ペアの友達と好きな動物になりきって即興的に踊る。

- ・カードに書かれた「動物が〇〇しているところ」を踊ったり，ペアで動きを真似したり見合ったりする。

- ・二組のペアで交流する。

- 5 学習を振り返る。



前時の振り返りを生かしたり，ICTを活用して題材へのイメージを膨らませたりすることにより運動遊びに対する興味や関心を喚起します。①

運動を「する」楽しさや喜びだけでなく，「友達と見合ったり教え合ったりして，運動がもっと上手になったり楽しくなったりした」「頑張っている友達を応援したくなった」など，「みる・支える・知る」などの多様な楽しさや喜びを味わえるようにします。②

友達の上手なところを称賛したり，できた楽しさを味わったりしている児童の姿を見逃さず，褒めたり価値付けたりします。③

ペアで動きを真似したり見合ったりする場面

S1：ゾウが怒っている感じを表すために，腕を「グルグル」回してみたんだけどどうだったかな？

S2：始めはゆっくり回し，先生と一緒にやった高さを変えた動きも取り入れたらいいよ。

S1：なるほど，体を大きくゆっくり揺らしてから「グルグル」回すと，怒っている感じが出てくるね。ゾウの鼻は，いろいろな方向に動いていたから，体をひねって上や下，左右に動かしてみるね。

S2：なりきっていいね。ゾウの怒っている感じが出ているよ。私も真似してみるね。



学習を振り返る場面

T：「いいな」と思う友達の動きはありましたか。

S3：S1さんは，体を「ユラユラ」と大きくゆっくり揺らしたり，腕を「ブルブルン」と回したりしてゾウが怒っている感じが出ていました。

S4：S3さんと一緒にゾウの力強い動きを表すために，体を低くして足を「ドスンドスン」と踏んだり，「ドスドス」と速くしたりしました。「感じ」を大げさにするとよりきって踊れて面白くなりました。

S2：私は，サルがお腹をすかせて夢中になってえきを探している感じを出すために，S1さんのように速さを変えたり，S4さんの動きと違って「ピョンピョン」と弾んだ動きを入れてみたりしたらうまくできました。友達も褒めてくれたのでうれしかったです。

T：友達の動きと反対の動きも取り入れていますね。